

なめがわ 議会だより

第 110 号

発行
滑川町議会
平成25年8月1日

責任者
議長 金井塚徳一
編集

議会広報発行対策特別委員会
比企郡滑川町福田750-1
TEL 0493(56)2211
FAX 0493(56)5522



プールで楽しむ滑川幼稚園児

6月定例会

新議長・副議長が選任される

各委員会の構成決まる

町内のため池・耐震対策等の点検

第187回 6月定例会



平成25年6月定例会は6月4日より7日まで、4日間の会期日程で開かれました。

定例会では、年金2・5%削減中止を国に要請することの請願を始め、議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定等6議案が上程され、慎重審議の結果全議案原案通り可決されました。なお、一般質問では3名の議員が登壇し様々な角度から質問しました。

定例会 会期日程

6月4日

● 諸般の報告

金井塚議長

● 比企広城市町村圏組合
議会報告

井上副議長

● 小川地区衛生組合議会
報告

上野廣議員

● 行政報告

吉田町長

● 全議案一括上程説明
一般質問

小澤教育長

● 6月5日

● 6月6日

● 6月6日

● 議案審議

● 6月6日

● 議案審議

議案第49号

滑川町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第50号

滑川町スポーツ推進委員設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第51号

平成25年度滑川町一般会計補正予算(第2号)の議定について

議案第52号

平成25年度滑川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)の議定について

議案第53号

平成25年度滑川町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)の議定について

議案第54号

平成25年度滑川町浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)の議定について



議案審議 Q & A

スポーツ推進委員へ望むこととは何なのか。

Q 滑川町スポーツ推進委員設置条例の一部改正に於いて、理由として6月1日より新たな行政区が発足したことで学識経験者を含めての定数増員とありますが、内容についてお聞かせください。

A 今のところ1名の増員ですが、次に別の所の分区が生じた時は、また考えます。

Q 特に、学識経験者を含める、とあるが何を望むのか。

A 健康元年ということでもシルバースポーツが盛んになることが見込まれる中で指導と推進を任う方を確保

し、スポーツの更なる普及を図っていかうと考えています。

Q 合併浄化槽事業の推進による水質向上について

A 県知事が推進している「水の再生事業」を推進する中で、河川の汚れの原因が生活排水であることが確認され、市町村型合併浄化槽事業を強化することになったと思います。河川や堀の水質向上という観点で、滑川町内の排水調査を行い、排水浄化強化地域を指定する予定はあります。

Q 本事業を開始して一年経過したところですが、町民に事業内容を正しく理解していただき、希望する

かたに合併浄化槽を設置していただいています。現在、排水浄化強化地域を指定する予定はありません。

要望

本事業の水質浄化の成果を確認するためにも、合併浄化槽設置前後の堀や川の水質のデータを採っておく事を要望いたします。



生活排水を浄化する合併浄化槽

請願及び意見書審査

- 一、請願
年金2・5%削減中止を国に要請することの請願に対して審査の結果採択となる。
- 一、意見書
埼玉県立大学に医学部の新設を認めることを求める意見書提出について、審査の結果採択となる。

一般会計補正予算について

震災対策農業水利施設整備事業

大規模地震や近年の豪雨等により、多くのため池が被災し、特に東日本大震災では、ため池の決壊等により農地だけでなく下流の住民や家屋等にも甚大な被害が発生しております。これらを受けて会計検査院が、地震、津波対策の調査の結果、耐震性不明なものが9割以上のため滑川町においても国庫補助金72,500千円（下記以外に補助金あり）を受け、下記の対応を計ります。

記

平成25年度

- ため池の一斉点検 95箇所
対象ため池の現状把握のため、施設の諸元、漏水、クラック及び変形、変状、改修履歴、周辺状況の点検を国庫補助金により実施
500千円×95箇所＝47,500千円
- ため池の耐震点検 5箇所
地震により人家等への被災の影響が大きいため池については、一斉点検項目に加え、堤体ボーリング等による土質調査、安定計算等による耐震性の調査を実施 5,000千円×5箇所＝25,000千円

平成26年度～

- ため池ハザードマップの作成、及びため池整備の検討

第186回

臨時議会開催される

第186回臨時議会が4月30日に召集され、1日の会期で開催されました。

正副議長選挙、各常任委員会の正副委員長の選任、比企広域市町村圏組合議会議員等の選出を行い、町長からの提出議案5件を審議し、それぞれ原案どおり可決されました。

議案第43号

滑川町税条例の一部を改正する条例の専決処分
の承認を求めること
について

議案第44号

滑川町国民健康保険税
条例の一部を改正する
条例の専決処分の承認
を求めることについて

議案第45号

滑川町区長等に関する
条例の一部を改正する
条例の制定について
(羽尾一区分区に伴う)

議案第46号

滑川町環境委員に関す
る条例の一部を改正す
る条例の制定について
(羽尾一区分区に伴う)

議案第47号

平成25年度滑川町一般
会計補正予算(第1号)
の議定について(羽尾
一区分区に伴う予算措
置)

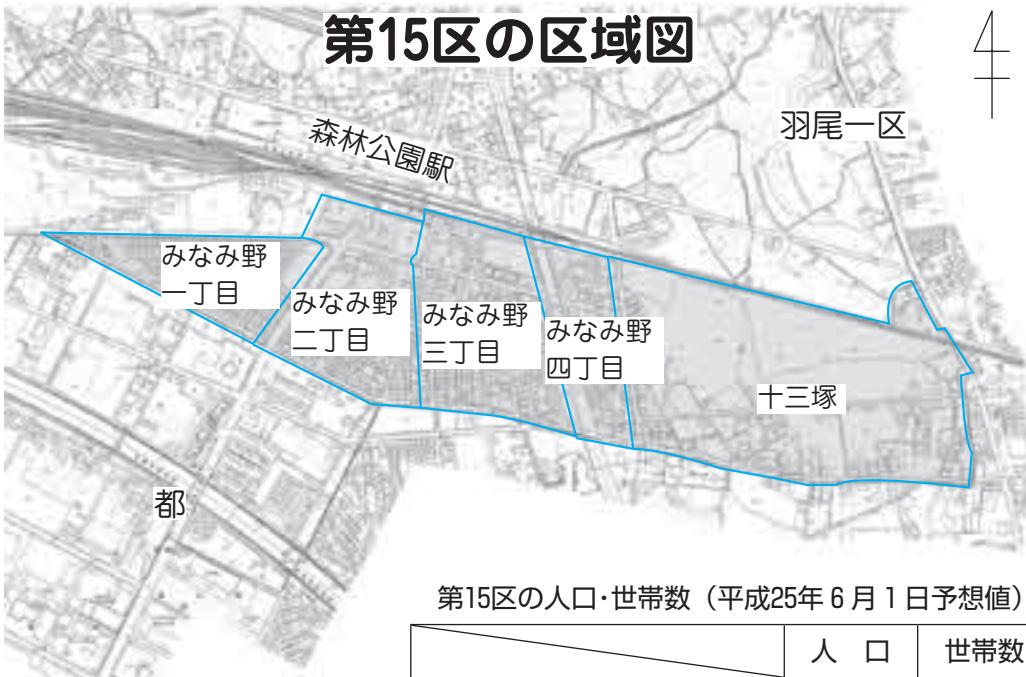
議案第48号

滑川町監査委員の選任
について

羽尾一区分区される

羽尾一区分から「みなみ野と十三塚」が分区分立し第十五区として新設されました。

第15区の区域図



第15区の人口・世帯数(平成25年6月1日予想値)

	人口	世帯数
第15区(みなみ野・十三塚)	1614	680
第10区(羽尾一区分)	1691	711

第188回

臨時議会

第188回臨時議会が6月26日に召集され、一日の会期で開催されました。

東日本大震災支援のための国家公務員の給与減額措置を踏まえ、滑川町職員の給与を減額するために伴う補正予算を主体とした議案6件が提出され、それぞれ原案どおり可決されました。

議案第55号

滑川町職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について

議案第56号

平成25年度滑川町一般会計補正予算(第3号)の議定について

議案第57号

平成25年度滑川町下水道事業特別会計補正予算(第2号)の議定について

議案第58号

平成25年度滑川町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)の議定について

議案第59号

平成25年度滑川町浄化槽事業特別会計補正予算(第2号)の議定について

議案第60号

平成25年度滑川町水道事業会計補正予算(第1号)の議定について

新議長・副議長が選任されました

就任の挨拶

議長

金井塚 徳一



議長就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。私、平成25年4月30日に開催の第186回臨時議会におきまして、滑川町議会議長の

要職に就任することになりました。身に余る光栄と受け止め、また心より感謝するとともに責務の重大さを改めて痛感しております。今日、地方自治を取り巻く環境は大きく変化しております。地方分権の進展に伴い議会の果す役割と議員の責務も一層重要となっております。町の意思決定機関である議会が町民の負託に応え、町の持続的で充実し

た町づくりに寄与できるように誠心誠意努力してまいり所存です。滑川町は、将来推計人口によると近隣市町村では唯一人口増が見込まれる町となっております。子育て環境の充実が結実した結果と受け止め、これからは高齢化社会をも見据えた町づくりにも向けて、更に議論を深めて行く

ことが肝要と心得ています。また、議会運営につきましては、公平無私の立場を貫き、各議員がそれぞれの力量を十分に発揮できるように配慮してまいりたいと思っております。今後とも、町民の皆さんのご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

副議長

井上 奈保子



暑さも一段と厳しさを増してまいりました。皆様には益々ご健勝のこととご推察申し上げます。さて、この度の議会臨時

会にて議員各位のご推挙を賜りまして副議長に選出されました。任務の重さを痛感しております。微力ではございますが皆様のご指導とご協力を頂きながら議長との補佐役として任務を果たして参ります。

滑川町では先の大震災の教訓を真摯に受け止め、住民の生命・財産・美しい郷土を守るため、町の「地域防災計画」を作成し、各戸へ配布しました。自治体が諸事業を執行するにあたっては、具体的政策を議会へ提出します。議会はこれを最終的に決定することや決まった政策を行

う執行機関の執行内容を住民の立場に立ってチェック機能の責任を果たすことが使命であると思っております。今後も住民、皆様からの付託に応えるべく執行部と共に切磋琢磨し合って、諸課題の解決に取り組んで行く所存でございます。どうぞご理解とご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

始まる

総務経済建設常任委員会

委員長 石川 正明
副委員長 北堀 一廣
委員 金井塚徳一
委員 森田 泰雄
委員 田幡 宇市
委員 紫藤 昌久
委員 北村 徳章



今年度の計画

建設課

狭あい道路

狭あい道路解消に向けて、対象となる現地調査を徹底。

森林公園駅北

森林公園駅北の面的整備の可能性について、現地調査及び関係する住民からのヒアリング。

通学路

通学路に該当する道路整備の状況調査。

産業振興課

情報発信館

森林公園内にある情報発信館の費用対効果を検証。

森林公園

森林公園との情報交換会を開催し、地域との連携事業を強化するため森林公園と各種団体などとの連絡協議会設置を検討。

里づくり

里づくり事業の費用対効果を検証。

総務政策課

町民会館建設計画

事業方式や運営方法を検討し、先進的施設を視察。特に民間活力を利用した取り組みについて検討を深める。町民会館は、長期に渡り利用していくものなので、役場周辺の土地利用や、施設配置を含め長期的視点で検討をしていく。

防災減災計画

災害発生時における議会としての役割や対応を検討する。

財政シミュレーション

教育環境整備や、庁舎の大規模改修などにより、起債額も膨らんでいる。今後、町民会館建設や総合体育館の改築も計画段階にある中で、財政の長期的なシミュレーションを検証する。

環境課

税務課

会計課

水道課

各事務事業について、ヒアリングや視察を行う。

文教厚生常任委員会



委員長 上野 廣
副委員長 大山 尚美
委員 上野 憲子
委員 長谷川元夫
委員 井上奈保子
委員 伊東 康夫
委員 高坂 清二

今年度の計画と課題

健康福祉課

健康づくり研修

立正大学地域連携支援センター、武蔵丘短大健康生活科などの研修（8月）、健康長寿日本一の長野県を視察研修（11月）し、滑川町の健康増進に活かす。

健康長寿の地域づくりの促進

町内各地域の健康づくり活動を積極的にサポートしていく。

献血の推進

埼玉県赤十字血液センター視察・研修（10月）。

ゴミの減量化

生ゴミやプラスチックのリサイクル施設がある彩の国循環センター等の視察・研修（来年2月）。

町民保険課

国民健康保険

平成27年度に予定されている国民健康保険事業の広域化へ向けての課題を検討。

介護保険

国が推進している在宅介護等、高齢者目線で検討していく。

環境課

ゴミ処理場の広域化

小川地区衛生組合のゴミ焼却場は老朽化が進み、現在東松山市を含む8市町村で推進予定、課題を検討していく。

教育委員会事務局

宮前小学校プール

老朽化と校舎から離れた場所にある。このような課題を持つ、宮前小学校プールの新設に関連した、ヒアリングや、現地視察を実施（7月）。

図書館

蔵書総数 110,575冊
来館者数 19,854人（昨年）
貸出総冊数 120,795冊（//）
と、たくさんの人に利用されている。利用者目線でさらなる充実に向けていく。

給食の安全安心

給食試食（7月）。
給食センター視察（10月）。

一般質問

6月定例会では、3人の議員から※一般質問が行われ、町政全般について活発な議論が展開されました。質問と答弁の要約内容は9ページから11ページです。なお、全文記録(議事録)については、9月中に滑川町ホームページ(<http://www.town.namegawa.lg.jp>)に掲載しますのでご覧ください。

上野 廣 (9ページ)

- ・グリーンツーリズムの推進を
- ・平和憲法を考える
- ・市野川河川整備は

大山 尚美 (10ページ)

- ・HPV検査の導入を
- ・骨髄ドナー助成制度を
- ・風疹予防接種の助成を
- ・ペットの避難対策は

上野 憲子 (11ページ)

- ・特定検診受診アップの方策は
- ・風疹予防接種費用の助成を

一般質問は
次ページより

※一般質問=議員が町の行財政にわたる執行状況や将来への方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点を質すこと。

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会運営全般について協議する場として設置されている委員会です。

主に定例会前に上程される議案等を検討して、会期日程を決定したり、意見調整を図りながら議会運営をスムーズに進めるための協議機関です。



委員長 上野 憲子

副委員長 長谷川元夫

委員 井上奈保子

委員 田幡 宇市

委員 伊東 康夫

委員 北堀 一廣

委員 北村 徳章

伊東康夫議員が選任されました。



伊東康夫 氏

町監査委員



上野 廣 議員

問 グリーンツーリズムの推進を

答 遊歩道やサイクリングロードを検討していく

問 グリーンツーリズムでは、都会の住民が農村に滞在し、都市と農村の交流、農村地域の収入増加などが期待されます。自然豊かな滑川町は、谷津の里づくりが充実しつつありますが、宿泊施設、遊歩道、サイクリング道路などの整備が十分ではなく、グリーンツーリズムを堪能できる環境にはないと感じています。今後の方針又は計画についていかがいますか。

答 滑川町は都市との距離が近いので、町で運営するような宿泊施設は考えていません。また、町が推進している4箇所の谷津の里を結ぶ里道や山道の整備を遊歩道やサイクリングロードに使えるよう検討していきます。

■羽尾平堰改修は

問 市野川羽尾平堰はラバー堰ですが、劣化が激



老朽化が進む羽尾平ラバー堰

しく、一刻も早く根本的な改修が必要になっていきます。すでに、水利組合から要望が出ていますが、現状をうかがいます。

答 本ラバー堰は、昭和54年施工で34年経過し、耐用年数は過ぎています。平成23年度に本ラバー堰の診断調査は行なっていますので、出来る限り早く施工できるように県と調整していきます。

問 平和憲法を考える

答 憲法9条は尊重する

問 いま、憲法論議が盛んになってきています。

現政権が憲法9条を改正するという動きもあり、日本が戦前のような軍隊を持つことになる危惧があります。町長の重点施策の四本柱のひとつが平和です。今年の滑川町の平和事業の計画と現政権の動きについてのご意見をうかがいます。

答 日本国憲法は、先の大戦で亡くなった300万人を超える尊い国民の犠牲の上に出来た憲法であり、私個人はいい憲法と考えています。平和は町長の公約でもあり、平和の尊さ、悲惨さを風化させないように、「平和を見つめるピースバスツアー」「戦争と平和を考える写真・パネル展」などの多くの平和の啓発事業を計画・継続しています。

また、平和首長会議にも加盟しました。



大山 尚美 議員

問 骨髄ドナー助成制度を

答 支援事業作りを考えたい

■ 骨髄ドナー助成制度を

問 昨年9月に造血幹細胞移植法が公布されました。白血病、再生不良性貧血などの難病に有効な治療法です。善意のドナーがいて初めて成立しますが、休業補償が無く経済的な負担が重いです。骨髄提供まで至らないケースが4割程あります。助成制度の導入についていかがですか。

答 埼玉県内で助成している所はありませんが、有効性のあることだと思えます。滑川町でも支援事業を作り、県内初で始めたところが出て来るよう、導入に向けて検討していきます。

■ HPV検査の導入を

問 子宮頸がん検診の内容は細胞診のみとなつていますがHPV検査を併用する

ことで、がんの見逃ごしが限りなくゼロになります。取り入れの考えは。
答 国のがん検診の動向に注意を払いながら前向きに検討していきます。

問 子宮頸がんは20〜30代の女性に急増中で、発症年齢は35歳、これは日本女性の初産の平均年齢に重なりま

す。近隣の町も補助事業が始まっています。
答 比企広域で医療格差が生じないよう、医師会管内の担当者部会で、補助について話しあっています。

※HPV ヒトパピローマウイルス
がん発症との関連が深い



骨髄ドナー 採血風景

問 ペットの避難対策は

答 今後の検討課題

■ 風疹予防接種の助成を

問 風疹の患者が全国で急増しています。ワクチン接種の助成は。

答 補正予算の計上をしました。対象は19〜49歳の女性。妊娠中の女性の配偶者で、3000円の補助です。

問 継続的な補助の考えは。

答 患者の推移を見ながら検討します。

■ ペットの避難所について

問 環境省は、災害時にペットも避難できるようにガイドラインを自治体に示す事になっています。町の避難訓練時にペット同伴の避難訓練も必要と思われませんか。

答 これからの訓練で取り入れていくか検討の課題になると思われます。

問 ペットの食料の備蓄の考えは。備蓄出来ない場合でも、食料の調達体制の整備の中にペットの食料も加える必要があると思われませんか。

答 国からのガイドラインが出されたら、よく検討していきます。



上野 憲子 議員

問 特定健診受診アップの 方策は

答 実施回数を増やすなど

■みんなが健康で長寿の
町づくりについて■

問 町長は、「平成25年度は健康づくり元年と位置づけ取り組む。」との決意であると話されました。健康づくりを進めるにあたり、平成24年から3ヶ年の行動計画が示されましたが、24年度の特定健診の実施率は。

答 50歳以上の受診率を前年度比10%アップの目標に進め、平成24年度の概算値は32%位（前年25%）になる

と考えます。

問 平成25年度も受診率を10%アップするとありますが、どのような対策を考えていますか。

答 健診の実施回数を増やし、区長さん達にも力を借りていきたいと考えます。

問 今年度の計画で重点事業は。

答 グループ作りの支援はもとより、健康づくり推

進委員さんを中心に事業を展開していきます。

問 保健師、栄養士等健康づくりスタッフの確保も重要なことと思いますが、今後の職員採用の中で検討していきます。

問 町民の健康づくりを進める中で、食の重要性は欠かせません。坂戸市が実践しているルッコラ（葉酸を多く含む葉もの野菜）など「野菜もりもり促進事業」や長野県が「県民減塩運動」を実施し、長寿全国一位となった実践など学ぶべきと考えますか。

答 町でも、血圧を下げる効果があるという干し柿作りも進めています。健康野菜づくりも提案していきます。



健康づくり団体活動中

問 風疹予防接種費用の助成を

答 3千円を助成

■大人の風疹予防接種
費用の助成を■

問 県内の自治体でも風疹予防接種の助成を進める自治体が増えてきました。町でも早期の実施を求める声が多く聞かれています。

答 6月議会の補正で接種費用補助金90万円を計上し、ひとり3000円で300人分を予定しています。助成期間は平成25年7月1日から平成26年3月31日までとしますが、4月1日にさかのぼり助成します。

問 風疹の流行は、まだまだ続くのではないかと予想されていますが、せっかくの取り組みを実施するためにも、対象者に多く知らせていかなければなりません。

答 一人でも多くの人に予防接種を受けてもらうために、いろいろな方法を検討していきます。



議員による大笑庵（グループホーム）視察



広報委員研修会



新築された滑川中学校東校舎の授業風景



滑川中学校運動会

各常任委員会から選出された委員によって構成され、議会の審議状況等を通して、積極的に広くわかり易く町民にお知らせすることを目的とします。
議会だよりを年四回、定例会ごとに発行いたします。

- 発行責任者 金井塚徳一
- 委員長 井上奈保子
- 副委員長 高坂 清二
- 委員 森田 泰雄
- 委員 紫藤 昌久
- 委員 上野 廣
- 委員 石川 正明
- 委員 大山 尚美



議会広報発行対策特別委員会

議会を傍聴してみませんか

議会では町民の皆様の生活に直結した重要な問題が審議されています。ぜひ傍聴にお越しください。次回の定例会の開会予定は9月3日(火)です。

編集後記

梅雨の時季を迎えたものの前半には降雨量も少なく田植えなどに水不足の心配もありましたが、中旬になって恵みの雨が降り、万物に生気が漲り暑さも厳しくなってきました。

議会は4月30日の臨時議会にて新しい人事体制が決まり、スタートしました。編集委員も新メンバーに替わり議会だより110号をお届けいたします。

6月定例議会には民生委員さんや大勢の方々が傍聴され、本会議の様子をつぶさにご覧くださりありがとうございました。

私達議会としては、「議会だより」を通して議会の活動を広く町民にお伝えするとともに町民と議会を結ぶ貴重な役割を果たすことを目指しています。

皆様からの「声」を是非お聞かせいただければ幸いです。

更に暑い日が続くと思いますが、皆様どうぞご自愛いただき、この夏をお元気で過ごしてください。

井上奈保子